

1 課題

・深い思考力にやや欠け、資料を読み取り、自分の考えをまとめ、考えを分かり易く記述することに課題がある。  
 ・文章やグラフ、図表などの資料を総合的に読み取り、記述式で答えることのできる力を付ける必要がある。  
 ・「生徒が主体的に解決したくなるような課題」を設定し、解決する過程で必然的に思考の「すべ」を用いるような授業スタイルを確立する。



2 めざす姿

・夢や志を抱いている子ども  
 ・自分自身が好きで、尾道、広島そして日本が大好きな子ども  
 ・一人ではなくみんなで力を合わせて、課題を解決できる子ども  
 ・素直に感動して一生懸命がすばらしいと思える子ども

3 めざす姿に向けた取組の具体

1学期の取組

- (1)主体的に課題解決学習をさせる課題設定と授業実践の研究  
 ①各教科における検証問題(課題)の作成と見取り  
 ②全校における検証問題(課題)の作成と見取り  
 ③全校における「視写」の実践  
 (2)校内研究の方法に係る研究  
 ①「1人1研究」による各教科の研究  
 ②グループ研究(「1人1研究」の交流、指導案検討、授業の事後協議)  
 ③テーマに沿った学習指導案の作成と実施  
 ④個に応じた指導方法の工夫

検証

- (1)各教科の検証問題(記述式)の評価の割合  
 (2)全校の検証問題(記述式)の評価の割合  
 (3)生徒アンケート(課題解決学習、「すべ」の使用)における肯定的評価の割合  
 (4)教職員アンケートにおける肯定的評価の割合  
 ※「全国学力学習状況調査」(3年)  
 ※「基礎・基本定着状況調査」(2年)  
 ※尾道市学力調査(1年)  
 ※英語能力判定テスト(3年)



2学期の取組

- ※1学期の取組を継続する。  
 ※公開研究会の取組を中心として、生徒が主体的に関わる授業改善を図るとともに、今年度の取組の中間まとめの作成

検証

- ※1学期の取組を継続する。  
 ※英語能力判定テスト(2年)  
 ※全国学力・学習状況調査の検証(3年)



3学期の取組

- ※1学期の取組を継続する。  
 ※今年度の取組のまとめ  
 ※来年度への取組の作成と事前準備

検証

- ※1学期の取組を継続する。  
 ※「基礎・基本」定着状況調査の検証(2年)  
 ※英語能力判定テスト(1年)

4 取組の結果

1年生 市学力調査(4月)

市学力調査

教科	国語(基礎)	国語(活用)	数学(基礎)	数学(活用)	理科(基礎)	理科(活用)	社会(基礎)	社会(活用)
結果(対県比%)	105.2	102.9	99.3	97.8	98.5	99.9		



H29「基礎・基本」目標値

(対県比%)
105%

2年生 「基礎・基本」定着状況調査(6月)

基礎・基本

教科	国語I	国語II	数学I	数学II	理科I	理科II	英語I	英語II
目標値(対県比%)	100	100	100	100	100	100	100	100
結果(対県比%)	95.5	102.8	100.1	93.9	92.3	94.2	90.1	84.9



2年生 検証(1)月 (○をしてください → 全問実施( ) 抜粋(○))

教科	国語I	国語II	数学I	数学II	理科I	理科II	英語I	英語II
目標値(対県比%)	105	110	110	100	100	100	100	100
取組の結果(対県比%)								



H29 全国学力目標値

(対県比%)
105%

3年生 全国学力・学習状況調査(4月)

全国学力

教科	国語A	国語B	数学A	数学B
目標値(対県比%)	100	100	100	100
結果(対県比%)	95.9	90.1	95.5	85.9



3年生 検証(12)月 (○をしてください → 全問実施( ) 抜粋(○))

教科	国語A	国語B	数学A	数学B
目標値(対県比%)	105	105	105	100
取組の結果(対県比%)				